



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月15日

上場会社名 東京産業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8070 URL http://www.tscom.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 利夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 蒲原 稔 (TEL) 03-5203-7841  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	86,496	13.0	1,521	△18.0	1,776	△15.6	1,990	37.9
2020年3月期第3四半期	76,532	△15.3	1,856	△2.1	2,106	△2.8	1,443	△3.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,402百万円( 82.1%) 2020年3月期第3四半期 1,319百万円( 12.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	73.75	—
2020年3月期第3四半期	53.64	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	77,070	26,741	34.7
2020年3月期	70,611	24,882	35.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 26,741百万円 2020年3月期 24,882百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
2021年3月期	—	12.00	—		
2021年3月期(予想)				14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	11.6	1,900	△29.5	2,100	△29.3	2,200	1.0	81.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	28,678,486株	2020年3月期	28,678,486株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,388,697株	2020年3月期	1,757,243株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	26,995,800株	2020年3月期3Q	26,911,981株

(注)当社は、株式付与ESOP信託及び役員報酬BIP信託を導入しており、各信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の国内における感染者数が一時小康状態となり、段階的な経済活動再開の兆しが見られたものの、昨年末から再び全国各地において感染者数が急増し、厳しい状況の中で推移しております。また、国外においても、再び行動制限や店舗閉鎖などの経済活動抑制の動きが見られるなど、国内外ともに依然として感染症終息の目処は立たず、今後も景気は厳しい状況が続く懸念があります。

このようななか、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ99億63百万円増加の864億96百万円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

売上総利益は57億11百万円（前年同四半期比2億47百万円減、4.2%減）、営業利益15億21百万円（前年同四半期比3億34百万円減、18.0%減）、経常利益17億76百万円（前年同四半期比3億29百万円減、15.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億90百万円（前年同四半期比5億47百万円増、37.9%増）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

従来、「電力事業」「化学・環境事業」「電子精機事業」「生活関連事業」の4つのセグメントに区分しておりましたが、シナジー効果の発揮を目的とした組織再編を実施し、第1四半期連結会計期間より、「化学・環境事業」と「電子精機事業」を統合し、「環境・化学・機械事業」へ変更しております。これは、顧客の要望に対し複数セグメントの商品群を複合的に提案する必要性から、事業本部を見直したことに伴う変更であります。

また、取り扱う商品群の変化に合わせて「生活関連事業」の報告セグメント名称を「生活産業事業」に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### (電力事業)

売上高は523億50百万円と前年同四半期に比べ89億83百万円の増加となっております。また、セグメント利益は6億58百万円と、前年同四半期に比べ1億16百万円の減少となりました。

#### (環境・化学・機械事業)

売上高は299億円と前年同四半期に比べ17億35百万円の増加となっております。また、セグメント利益は7億71百万円と、前年同四半期に比べ1億円の減少となりました。

#### (生活産業事業)

売上高は41億51百万円と前年同四半期に比べ7億48百万円の減少となっております。また、セグメント利益は47百万円と、前年同四半期に比べ1億15百万円の減少となりました。

#### (その他)

売上高は94百万円と前年同四半期に比べ7百万円の減少となっております。また、セグメント利益は44百万円と、前年同四半期に比べ2百万円の減少となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、770億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して64億58百万円の増加となりました。主な要因として、仕掛品の増加等により流動資産が38億41百万円増加したことによるものであります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は503億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して45億98百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金の増加等により流動負債が32億79百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は267億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億59百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は34.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年12月25日に公表した予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,851	8,706
受取手形及び売掛金	20,914	18,939
有価証券	1,000	—
商品	1,000	668
仕掛品	—	6,000
前渡金	12,690	15,571
未収入金	6,347	4,805
その他	3,006	960
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	51,796	55,638
固定資産		
有形固定資産	10,963	12,324
無形固定資産	62	29
投資その他の資産		
投資有価証券	4,074	5,420
その他	3,723	3,666
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,788	9,077
固定資産合計	18,814	21,431
資産合計	70,611	77,070
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,454	7,262
受託販売未払金	6,160	5,322
短期借入金	5,644	9,375
未払金	6,985	5,554
未払法人税等	589	335
前受金	12,573	16,018
引当金	437	319
その他	463	398
流動負債合計	41,307	44,587
固定負債		
長期借入金	2,602	3,957
退職給付に係る負債	10	13
引当金	292	87
その他	1,516	1,682
固定負債合計	4,421	5,740
負債合計	45,729	50,328

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	2,822	2,830
利益剰余金	18,809	20,116
自己株式	△670	△501
株主資本合計	24,404	25,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	765	1,111
繰延ヘッジ損益	△37	△30
土地再評価差額金	36	—
為替換算調整勘定	△21	△23
退職給付に係る調整累計額	△265	△204
その他の包括利益累計額合計	477	853
純資産合計	24,882	26,741
負債純資産合計	70,611	77,070

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	76,532	86,496
売上原価	70,573	80,785
売上総利益	5,959	5,711
販売費及び一般管理費	4,102	4,189
営業利益	1,856	1,521
営業外収益		
受取利息	8	52
受取配当金	204	200
為替差益	0	—
その他	87	118
営業外収益合計	301	371
営業外費用		
支払利息	46	67
為替差損	—	19
その他	4	29
営業外費用合計	51	116
経常利益	2,106	1,776
特別利益		
固定資産売却益	—	1,217
投資有価証券売却益	3	—
受取保険金	—	194
特別利益合計	3	1,411
特別損失		
固定資産処分損	1	35
固定資産売却損	—	80
固定資産圧縮損	—	89
投資有価証券評価損	—	38
減損損失	—	45
その他	—	3
特別損失合計	1	293
税金等調整前四半期純利益	2,108	2,894
法人税等	664	904
四半期純利益	1,443	1,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,443	1,990



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,443	1,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	345
繰延ヘッジ損益	3	7
為替換算調整勘定	△24	△2
退職給付に係る調整額	△29	61
その他の包括利益合計	△124	411
四半期包括利益	1,319	2,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,319	2,402
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電力事業	環境・化学 ・機械事業	生活産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,366	28,164	4,900	76,431	101	76,532
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	43,366	28,164	4,900	76,431	101	76,532
セグメント利益	775	871	162	1,809	47	1,856

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,809
「その他」の区分の利益	47
四半期連結損益計算書の営業利益	1,856

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電力事業	環境・化学 ・機械事業	生活産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,350	29,900	4,151	86,401	94	86,496
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	52,350	29,900	4,151	86,401	94	86,496
セグメント利益	658	771	47	1,476	44	1,521

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,476
「その他」の区分の利益	44
四半期連結損益計算書の営業利益	1,521

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「環境・化学・機械事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、45百万円であります。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「電力事業」「化学・環境事業」「電子精機事業」「生活関連事業」の4つのセグメントに区分しておりましたが、シナジー効果の発揮を目的とした組織再編を実施し、第1四半期連結会計期間より、「化学・環境事業」と「電子精機事業」を統合し、「環境・化学・機械事業」へ変更しております。これは、顧客の要望に対し複数セグメントの商品群を複合的に提案する必要性から、事業本部を見直したことに伴う変更であります。

また、取り扱う商品群の変化に合わせて「生活関連事業」の報告セグメント名称を「生活産業事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報」に記載しております。